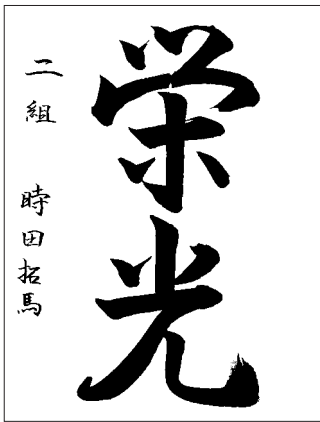


(敬称略)



▲熊野東中学校 1年 時田 拓馬
 【評】行書の美しい線がよく出ています。名前もていねいに書かれていて立派です。



熊野東中学校 2年 村上 航平
 【評】世界という広い視野の中で、最も身近である、自分を含めた一人ひとりが、何かを努力しなければいけない。何ができるだろうかと問いかけている作品といえます。

熊野の自然 (173)

ヤマコウバシ

(クスノキ科)



落葉樹がすっかり葉を落とした冬の山で、茶色い枯葉を枝につけたままの低い木があります。ヤマコウバシです。なぜ、枯れた葉が落ちないのでしょうか。木が葉を落とす時には、葉のつけ根に離層という部分ができますが、ヤマコウバシは離層の発達が十分でないと考えられています。しかし、枯葉が残っていると、冬芽を寒さから守ってくれる利点があります。枯葉は、春新芽が動き出す頃、役目を果たしたようにパラパラと散っていきます。

関東以西に分布。熊野の山でもよく見かけます。高さは2〜5m。幹は最大でも直径10cmほどです。葉は互生し、長さ5cm前後と小さめで、縁にぎざぎざがなく少し波打っています。葉柄が3〜4mmと短いのも特徴です。花は4月頃、葉が開くと同時に葉の腋に数個ずつ付きます。新葉と同じ淡黄緑色で小さいため目立ちません。雌雄異株ですが、日本では雄株は確認されていません。でも、雌株だけでも実はできます。球形で直径約7mm、秋に黒く熟します。「山香やまのかぐ」は、冬芽や枝葉を傷つけると香りがあるので付いた名です。楊枝ようじに使われるクロモジと同じ仲間です。別名はモチギ。若葉を乾かして粉にし、穀類の粉に混ぜて餅を作ったからです。県内では、広島市や比婆郡など広い地域で、タンバと呼びました。江戸中期の「芸藩土産」に「たんばの木」が載っており、凶作のとき食用にした記録があります。

【写真文 富沢由美子】

町の人口と世帯数 (前年同月比較)

平成15年12月31日 平成14年12月31日
 26,293人...人口...26,281人
 12,825人... 男 ...12,836人
 13,468人... 女 ...13,445人
 9,919...世帯数... 9,785

熊野町の火災と救急 平成15年12月中

火災	2件
死者	1人
傷者	53件
救急	48人
搬送	

火災と救急の通報は119番
 その他、消防の問合せ・相談はこちら
 海田地区消防署熊野出張所
 TEL854-1103

今月の題字



熊野高校1年生 渡邊 友恵さん

表紙：熊野町学芸員 王海濱 題：『春寒』